

# 使えば使うほど自然が復活!! 水をきれいにする多目的洗剤。

地球にやさしいだけでなく。地球にいい洗剤。

善玉菌（有用性微生物群）の酵素を配合。

洗剤使用後の排水が、川そして海へ流れ、酵素がヘドロ（悪玉菌）を分解してくれる（水質浄化）。

ヘドロの減少により、本来ある藻や珊瑚が復活し、それらの光合成の働きによりCO<sub>2</sub>を減少。

また生分解度も99%以上と非常に高いのも特長。

洗剤としての能力も非常に高く、嫌な匂いの元のバクテリアの解消はもとより、浸け置き洗いにより

しつこい汚れも分解。ウェットスーツの柔軟性もアップし、長持ちします。

自然環境の最前線にいるサーファーから環境問題を真剣に考え、  
美しい地球を子供たちに残そう。

This is WET SAMPOO 400ml/¥1,575(税込)

原液のため用途別に薄めてお使いください。

使用用途：ウェットスーツ、ブーツ、グローブ、トイレ、バス、ガラス、換気扇など家庭用洗剤

ウェットスーツにはバクテリアの効果により消臭はもちろん素材を柔軟にする効果もあり、洗い上がりもソフト。洗剤を使用し、排水すればするほど自然が浄化されます。

## 善玉バイオの力

光合成細菌、酵母、乳酸菌などの有用微生物によって構成されています。

微生物という恐ろしいバイキンのイメージがありますが善玉バイオに利用されている微生物は人間や動物、植物に害を与える悪玉菌（食中毒の原因ブドウ球菌や老化の原因ウェルシュ菌などの有害微生物）や遺伝子組替技術によって作出された微生物は一切使用致しておりません。

善玉バイオは古来より先人たちが生活の中で意識的、又は無意識に利用してきた微生物のみで構成されています。

善玉バイオは悪玉菌などの有害微生物（毒素を生成する微生物）を抑制し善玉バイオを核にして良い微生物を呼び集め活性化させる力を持っています。

そして人間や動物植物に有益な抗酸化物質や抗生物質、さらに可溶性栄養物質（ミネラル含む）を24時間休まなく作ってくれます。

一度良い微生物達の力が結集し善循環し始めれば放っておいても良い方向に行きます。しかし善循環し始めるまでが大変です。

ある時は1回の善玉バイオを投入するだけで善循環しますが、別の場合は100回を投入しても善循環しないこともあります。

善玉バイオの力を最大限引き出すポイントは善循環が始まるまで何回でも使うということです。

「重いボールが1度動き出せばなかなか停めることが出来ない」と同じです。

光合成細菌 光合成細菌の代謝系は非常に多様であり、地球上での窒素循環、炭素循環の中で重要な働きをしています。

また、光合成細菌は中心的な役割を果たしており、不可欠な存在といえます。

酵母は、花蜜や果物の表面のような糖分の多いところで生活し、アミノ酸や多糖類などの、色々な生理活性物質をつくる働き者です。

乳酸菌は、悪玉菌を退治し、善玉菌が優勢になるよう戦い続ける役割を果たします。



# This is WET SHAMPOOについての検証

## 洗浄・洗濯排水が与える影響

善玉バイオ(有用性微生物群)を用いた生活排水の浄化は全国的に行われています。

しかしながら、いまだ洗浄・生活排水については合成洗剤を使用する家庭や業者がほとんどです。

そこで独自の配合技術で石鹼並みの生分解性に富んだ善玉バイオ配合の洗剤を開発しました。

これは排水しても原生物・微生物の繁殖を促し、素早く分解しますので自然の力だけで浄化できます。

その事を検証するためにいくつかの実験・観察をしてみました。

## 外観の変化

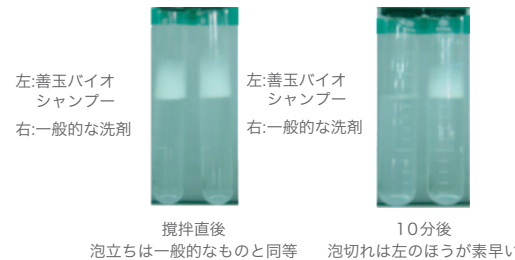
ヘドロの溜まった川の水を採取し、500mlに対し各サンプルを通常使用濃度の0.1%し、スターラーにて低速撹拌しながら20°Cの条件で5日間観察した。



一般的な合成洗剤は5日後でも透明度の低い状態ですが、善玉バイオシャンプーは透明度の高い状態が観察でき、外観からも水質浄化したことがうかがわれます。

## 泡立ち・泡切れの観察

試験管に各サンプル0.1%液を作成し、密栓後20回振り、泡の様子を観察した。



上図のように善玉バイオシャンプーは泡立ち・泡切れに優れていることが観察されました。

## 善玉バイオシャンプーの防錆性検証

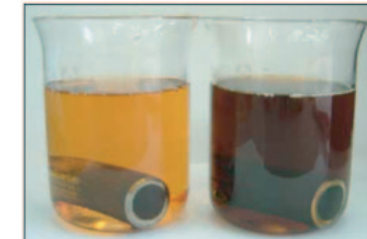
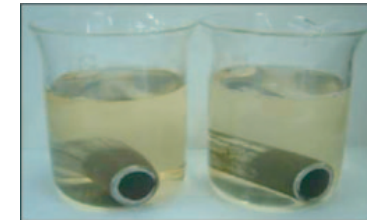
善玉バイオ配合及び無配合の液を作成し、新しい鉄くぎを浸し一ヶ月間静置した。



善玉バイオ無配合は腐食し、錆の色で赤くなっているのに対し、善玉バイオ配合液はまったく腐食せず液も透明のまま。善玉バイオシャンプーは金属腐食に対しても効果があると考えられます。

## 善玉バイオシャンプーの防錆性検証2

善玉バイオ配合及び無配合の液を作成し、あらかじめさびた鉄を浸し、2週間40°C条件にて静置した。



善玉バイオ無配合液の鉄管は錆が進行し赤黒く変色しているのに対し、善玉バイオ配合液は本来の錆が落ちた形で若干の茶色に変色しているが、錆の進行は見られませんでした。これからも、善玉バイオシャンプーは金属腐食に対して、効果があると考えられます。